

<b>赤煉瓦倶楽部舞鶴</b>									
会報123号 令和5年(2023年)7月14日					「赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ <a href="http://www.redbrick.jp/">http://www.redbrick.jp/</a>				
赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報 発行人/会長 吉岡博之 編集人/小野 章 〒625-0062 舞鶴市森973番地の1 FAX/0773-63-9764 E-mail brick7388@yahoo.co.jp									

目次

1. 令和5年度通常総会の報告	2. 第11回近代化遺産視察旅行の報告
-----------------	---------------------

<b>1. 令和5年度通常総会の報告</b>	<b>会長 吉岡博之</b>
------------------------	----------------

令和5年5月21日(日)、令和5年度赤煉瓦倶楽部舞鶴の通常総会を開催しました。以下、5議案を審議し全員異議なく承認されましたので、その概要を報告します。

第1号議案 令和4年度事業報告 (会報で主な事業は報告済みのため省略します)

第2号議案 令和4年度決算報告 以下の通りです。

収入の部

科目	金額(円)	備考
1 会費収入	48,000	個人46名、次年度前納等含む
2 事業収入	1,016,180	海軍レシビ販売、視察参加費ほか
3 寄付金収入	3,000	寄付金
4 雑収入	10,371	受取利息ほか
当期収入合計(A)	1,077,551	
前期繰越正味財産額	300,055	
収入合計(B)	1,377,606	

支出の部

科目	金額(円)	備考
1 事業費	710,275	海軍レシビ印刷、視察バス代ほか
2 管理費	185,053	旅費交通費、会報印刷費、労務費ほか
—	—	—
—	—	—
当期支出合計(C)	895,328	
当期支出差額	182,223	(A)-(C)
次期繰越正味財産額	482,278	(B)-(C)

第3号議案 役員を選任

以下のとおり、役員選任を行い新役員が選任されました。新役員は今後2年間、法人の目的(赤煉瓦を活かしたまちづくりの推進・支援等)を達成するための活動を行いますので、会員皆様のご支援ご協力をお願いします。

◇令和5-6年度の役員名簿

理事：石原雅章、馬場英男、梅本徳夫、日向 進、吉岡博之、川崎修洋、小野 章、隅垣とし子、嵯峨根八郎、大橋健二

監事：森口等史、言上洋海

◇会長及び副会長等の選任 総会終了後ただちに新理事による理事会を開催し、会則第6条4項の規定に基づき、以下の通り、会長、副会長、会計を互選しました。

◆会長：吉岡博之 ◆副会長：梅本徳夫、川崎修洋 ◆会計：石原雅章

第4号議案 令和5年度事業計画

令和5年度も引き続き、本会の目的を達成するため、主に以下の事業を実施することとしました。

①官設鉄道舞鶴線開通120周年記念事業の開催 ②市外視察旅行(広島市、呉市等)6月2日、3日実施済、③赤煉瓦ネットワーク大会参加(開催地等未定)、④倶楽部会報の発行、その他。

第5号議案 令和5年度事業会計予算 以下の通りです。

収入の部

科目	金額(円)	備考
1 会費収入	43,000	個人46名 前納3名
2 事業収入	1,499,000	視察参加費、海軍レシビ販売ほか
3 寄付金等収	10,000	募金、寄付金
4 雑収入	1,000	受取利息
当期収入合計	1,553,000	
前期繰越正味財産額	482,278	
収入合計(B)	2,035,278	

支出の部

科目	金額(円)	備考
1 事業費	1,404,000	視察費用、海軍レシビ印刷ほか
2 管理費	222,400	会報印刷費、交通費等
—	—	—
—	—	—
当期支出合計(C)	1,626,400	
当期支出差額	-73,400	(A)-(C)
次期繰越正味財産額	408,878	(B)-(C)

さる6月2日(金)・3日(土)広島県3市の近代化遺産の視察旅行を実施しました(参加者24名)。台風の影響による降雨の中早朝にバスで出発、幸い広島市に入る頃には小雨になっていました。昼食後に広島平和記念資料館の参観と原爆死没者慰霊碑の参拝、そして原爆ドーム(旧広島県産業奨励館)を見学しました。5月のG7サミット広島のせいか修学旅行の生徒や外国人見学者が目立ちました。無数の煉瓦が地面に散乱する原爆ドームを直接見ると被爆の悲惨さを肌で感じられます。続いて被爆建物の旧広島陸軍被服支廠(4棟)に移動、敷地・内部に立ち入りできず道路側から視察、原爆爆心から2.7kmの爆風で変形した窓の鉄扉などを観察しました。この赤煉瓦の建築は被爆後

に臨時救護所となり多くの被爆者が収容され3千名が亡くなったとされます。4棟の内3棟を所有する広島県は2019年に2棟を解体する方針を打ち出しましたが、直ちに市民や被爆者団体から反対の声が上がり、とりあえず耐震化工事などを検討しているとのこと。原爆投下を記憶する赤煉瓦建築としてぜひとも保存していただきたいものです。その後参観した広島市郷土資料館(旧宇品陸軍糧秣支廠跡)も被爆建築ですが、上記の被服支廠とは異なり、広島市の重要有形文化財に指定され、1980年に市郷土資料館となり保存・活用されています。一行はその後呉市へ移動、宿舎(クレイトンベイホテル)へ入りました。



原爆ドーム遠景



原爆ドーム近景



原爆死没者慰霊碑旁で



平和記念資料館回廊から慰霊碑と原爆ドームを望む



旧広島陸軍被服支廠の原爆爆風で歪んだ窓鉄扉



旧広島陸軍被服支廠前で



広島市郷土資料館（旧宇品陸軍糧秣支廠）



翌3日（土）は、快晴のなか呉市から海沿いの道路を45分かけ江田島市にある海上自衛隊第一術科学校を訪問、旧海軍兵学校の諸施設を見学しました。コースは所要90分で大講堂、海上自衛隊幹部候補生学校庁舎（旧海軍兵学校生徒館）、教育参考館の順に見学しました。大講堂は鉄骨煉瓦石造りの1917年建築で、外壁は瀬戸内産の白い花崗岩で覆われています。幹部候補生学校庁舎は1893年に建設、真南を向いており、赤煉瓦の壁は強い陽光に映えていました。舞鶴の赤煉瓦倉庫は、先の大戦時の空襲に備えた迷彩塗料の跡が残っていますが、この建物の煉瓦は、焼きあがったばかりかと思いがう美しさです（下記注）。130年間その美しさを保持できた要因は何でしょうか。教育参考館は、ギリシヤ神殿風ファサードの鉄筋コンクリート2階建

ての建物で、兵学校生徒の研鑽の資料を展示するために1936年に建設されました。戦前は4万点の資料が保存されていましたが、現在は16000点を保存し千点を展示しています。展示物には、幕末の海軍草創から始まり歴代海軍軍人の書、手紙、ゆかりの品や特攻隊員の遺書などが展示されており厳粛な気持ちになります。また館外には戦艦大和の主砲弾、特殊潜航艇などが展示されています。

（注）旧海軍兵学校生徒館の煉瓦につき、案内者は「これまでは英国から一個ずつ紙に包んで輸入された煉瓦で建設されたとしていましたが、実は全て地元で製造した煉瓦です」と述べていました。長期間流布していた「定説」を否定したわけです。生徒館の美しい煉瓦を見ると定説発生の理由も分かる気がしますが、超秀才の集まるこの施設で科学的根拠のない説が長く定着していた背景にこそ興味がわきます。



大講堂入口



大講堂内部（照明は船輪形）



大講堂東側の主賓用玄関



訓練する幹部候補生学校生徒



旧海軍兵学校生徒館正面



生徒館西出入口



教育参考館正面



特殊潜航艇



日英同盟百周年の英国オーク

呉市に戻り、昼食後に大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）を訪問、戦艦大和の十分の一の模型などを中心に海軍や造船業と共に歩んだ呉の歴史を参観しました。その後入船山記念館を訪問、旧呉鎮守府司令長官官舎を視察しました。1886年に2階建て洋館として建設され、1905年に芸予地震で倒壊、同年に和洋折衷の平屋として再建されました。敷地内には、旧東郷家住宅離れがあります。これは東郷平八郎が

1890年5月から1年8か月呉鎮守府参謀長として勤務していた際に住んだ邸宅の離れを移築したものです。呉市については、舞鶴市と同様の旧軍港市ではありながらも、人口20万人余であり、総じて「明るさ」と活気に富んでいる感じでした。平地が極度に少なく、山の中腹まで家が建てられていましたが、中心市街の街路は広く電柱地中化もされているようです。一行は午後3時過ぎ舞鶴への帰途につきました。



10分の1の戦艦大和模型



零戦などの展示コーナー



旧呉鎮守府司令長官宿舎

## 編集後記

広島平和記念公園の慰霊碑と原爆ドームを望む写真（2ページ）を見ると、背後の広島商工会議所ビルが黒い屏風のように見える。公園は丹下健三の設計で1955年に完成したが、ビルは十年後に現れた。5月のG7サミット報道でもこのビルの映り込みが目障りだったが、かねて国内外から景観美上の指摘があり、行政も腰を上げ4年後にビルを移転させるという。意見されてから動いたようだが、何よりここは多数の原爆死没者の慰霊の場で、世界の首脳はじめ無数の人々が参拝してきた場所ではないか。映画監督・黒澤明は「美というものは説明することは出来ません。自分の心で感じ取る他はありません」と記している。これは舞鶴赤れんがパークの電柱列の件にも当てはまりそうだ。

本会の目的（要旨）：赤煉瓦を活かしたまちづくり活動、赤煉瓦ネットワーク交流と他市のまちづくり支援など。  
 会員の資格：会費納入者 年会費（個人1,000円、団体5,000円）。ご寄附も受け付けます。  
 会費・寄付等 振込先：①ゆうちょ銀行 四四八店（ヨソヨソハチ店）普通 3679505 口座名義 アカレンガクラブマイツル  
 又は ②京都北都信用金庫 舞鶴中央支店 普通 口座番号0686767 口座名義 アカレンガクラブマイツル